令和３年度千葉市市民自治推進の実施状況（案）に関する事前質問・回答

【質問１】５ページ　No.2「第４期千葉市財政健全化プラン（仮称）の策定」（当日差替資料あり）

市のホームページでは千葉市財政健全化プランが「これまでの取組み」として記載され、令和４年度以降は「千葉市中期財政運営方針」が示されている。計画に対する実施状況として、市民に対する適切な説明をお願いしたい。

⇒（回答１）資金課

当日差し替えをさせていただきましたが、「令和３年度千葉市市民自治推進のための実施計画」作成時（R2.12）、「第３期千葉市財政健全化プラン」の対象期間（H30 年度から R3 年度）以降の取扱いについては未定であったところ、最終的に当該プランを策定しないこととなったため、実施しなかったものです。

【質問２】（資料記載なし）「各区公民館運営審議会」

令和３年度の総括において「公民館運営審議会」の記載がない。実施計画において「公民館運営審議会」が記載されていないので辻褄は合うが、令和４年度の実施計画では「公募したが、公募委員が不在の附属機関」として、公民館運営審議会が復活している。実態把握をお願いしたい。

⇒（回答２）生涯学習振興課

各区公民館運営審議会の委員の任期は２年であり、直近の改選は令和４年６月、その前の改選は令和２年６月であることから、令和３年度の実施計画及び実施状況には記載せず、令和４年度の実施計画に記載があるものです。

なお、令和４年度の公募委員募集は、前回と同様の条件等により実施され、若葉区公民館運営審議会につきましては応募があり１人を委嘱しておりますが、他の５区においては応募がありませんでした。

応募がなかった理由は、周知不足や応募の条件と考えており、次回募集時には、応募いただくために、今までと違う周知方法や応募しやすくなる条件の工夫などの対応を検討しております。

【質問３】８ページ　No.16「廃棄物減量等推進審議会」、No.17「バリアフリー基本構想推進協議会」、No.18「地域公共交通活性化協議会」

（１）廃棄物減量等推進審議会の公募委員について、応募人数が０人にも拘らず、公募委員数が１人になっている理由を教えてほしい。

（２）バリアフリー基本構想推進協議会は、公募委員募集数が２人に対し、公募委員数が４人、地域公共交通活性化協議会は募集数が２人に対し、公募委員数が３人になっている。理由を教えてほしい。

⇒（回答３）

（１）廃棄物対策課

No.16 廃棄物減量等推進審議会の公募委員につきましては、令和３年度当初では公募委員が２人おりましたが、任期満了に伴い、公募委員のうち１名を継続としたうえで令和３年度に次期の公募委員を募集したところ応募がなかったものです。

（２）交通政策課

No.17 バリアフリー基本構想推進協議会及びNo.18 地域公共交通活性化協議会につきましては、いずれも令和３年度に公募委員２人を募集したところ応募人員が想定よりも多く、市民の知識や社会経験をより市政に反映するため公募委員の採用数を増員したものです。

【質問４】１５ページ　No.20「都市計画道路磯辺茂呂町線（園生町地区）みちづくり協議会」

協議会はより良いみちづくりを目指す合意形成の場であり、住民間の相互理解深めるためにも、今後は対面開催も検討してもらいたい。

⇒（回答４）街路建設課

今後は新型コロナウイルス感染症対策が可能な範囲で、対面・オンラインのいずれでも参加できるようにする方向です。

【質問５】１９ページ　No.1「外国人アンケート」

回答率が４．４％と低くなっているが、どのように実施したのか教えてほしい。

⇒（回答５）国際交流課

対象者（千葉市在住の 18 歳以上の外国人）がいる全ての世帯にアンケートの案内はがきを郵送し、Web により回答していただく方法にて実施いたしました。

【質問６】６７ページ　No.25「ちばし地域づくり大学校」

運営にＮＰＯやボランティアが関わっているような取組みについては、そういったことが分かるように記載してもらえると、講座等でも協働の取組みが分かりやすいと思うが、いかがか。

⇒（回答６）市民自治推進課

ご質問にあったような事業につきましては、例えばちばし地域づくり大学校の運営委託は２（１）「委託」に掲載し、そのうち本件地域福祉活動のリーダーを養成する講座を本項目で掲載する等、掲載方法を今後検討してまいります。